

## 学習内容一覧表

単元	配当 時数	予備 時数	配当時数のうち、学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる 時数 / 年間計画上の留意点
自然にせまる	1	0	1.0
1. 春の生き物	8	1	2.0
2. 天気と1日の気温	5	1	1.0
○地面を流れる水のゆくえ	5	1	0.5
3. 電気のはたらき	7	1	1.0
○夏の生き物	4	0	1.5
○夏の夜空	2	0	0.5
自由研究	2	0	2.0
4. 月や星の動き	6	1	2.5
5. とじこめた空気や水	6	1	1.0
6. ヒトの体のつくりと運動	6	1	2.0
○秋の生き物	4	0	1.5
みんなで使う理科室	2	1	0.0
7. ものの温度と体積	8	1	1.0
○冬の夜空	2	0	0.5
○冬の生き物	3	0	1.0
8. もののあたたまり方	7	1	1.0
9. 水のすがた	7	1	1.0
10. 水のゆくえ	5	1	1.0
これまでの学習をつなげよう	1	0	1.0
○生き物の1年間	2	0	1.0
計	93	12	24.0
年間授業時数	105		

本資料は、令和2年度用教科書「わくわく理科 4」に基づいて、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。学校の授業以外の場において取り組む学習活動をできるだけ多く取り入れる場合を想定して示した一例ですので、地域や学校の状況に合わせて、適宜、学校の授業以外の場において取り組む学習活動を増減していただくなどしてご活用ください。

## 備考

- ・学校の授業で実験を行う際、実験器具の数の関係などで密接が想定される場合は、実験の個別化をはかる、演示実験とするなどの配慮が必要となります。
- ・学校の授業以外の場での学習活動において、インターネット上のデジタルコンテンツ等を活用することも考えられます。その際は、児童の通信環境に配慮するとともに、インターネット利用のルールとマナーを指導しておくことが望まれます。
- ・学校の授業以外の場での学習活動において、資料調べなどに取り組む場合は、事前にワークシートや記録カードなど（指導書DVD収録および弊社WEBページ掲載）を配布しておくことも考えられます。
- ・教科書の「発展」マークがついたところは、すべての児童が一律に学習する必要はありません。

自然にせまる

4月第2週, 配当1時間

次	時	ページ	おもな学習内容	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考 (○=指導に関する補足, ●=感染症対策の例, ・=学習活動に有効なデジタルコンテンツの例)
第1次	1	巻頭-p.5	季節によって, 身の回りの生き物のようすはどのように変わっていくのだろうか。	1.0	教科書を見て, 理科の学習の進め方を確認する。	

計 1.0 時間

1. 春の生き物

4月第2週～, 配当8時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】B(2)季節と生物 ア(7)(イ), イ

【単元の目標】	【単元の評価規準】※		
動物を探したり植物を育てたりしながら, 動物の活動や植物の成長のようすと季節の変化に着目して, それらに関係づけて, 身近な動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりを調べるを通して, それらについての理解をはかり, 観察などに関する技能を身につけるとともに, おもに既習の内容や生活経験をもとに, 根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度, 主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	知①/動物の活動は, 暖かい季節, 寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知②/植物の成長は, 暖かい季節, 寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知③/身近な動物や植物について, 器具や機器などを正しく扱いながら調べ, それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	思①/身近な動物や植物について, 既習の内容や生活経験をもとに, 根拠のある予想や仮説を発想し, 表現するなどして問題解決している。 思②/身近な動物や植物について, 観察などを行い, 得られた結果をもとに考察し, 表現するなどして問題解決している。	態①/身近な動物や植物についての事物・現象に進んでかかわり, 他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②/身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

※各観点の評価は, 「1. 春の生き物」「夏の生き物」「秋の生き物」「冬の生き物」「生き物の1年間」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点 記録	評価規準 (B基準) と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考 (○=指導に関する補足, ●=感染症対策の例, ・=学習活動に有効なデジタルコンテンツの例)
単元導入	1 ・ 2	p. 6-9	春の生き物 身の回りの生き物のようすは, 1年間でどのように変わっていくのだろうか。	思	思①/春の生き物のようすについて, 予想や仮説を発想し, 表現しているかを確認する。(発言・記述分析)			・教科書QR p.7「思い出してみよう」 ・教科書QR p.9「気温や水温のはかり方」 ○屋外での観察は, 炎天下での長時間の実施を避けるなど, 熱中症に注意する。
第1次	3 ・ 4	p. 10-13	生き物のようす 校庭などの生き物はどんなようすだろうか。 観察1 季節と生き物のようす	知	○ 知③/温度計を安全に正しく使い, 気温や水温を調べているかを評価する。(行動観察・記録分析)	1.0	気温と身近な動植物の様子を観察する。 ※家から離れた場所に子どもたちだけで観察に行くことがないようにするとともに, 安全指導を十分に行っておく。	○気温の測定は, 次単元「天気と1日の気温」と合わせて行うことも考えられる。 ・教科書QR p.11「鳥の鳴き声」
				思	○ 思②/春の生き物のようすと季節の変化を関係づけて考察し, 表現しているかを評価する。(発言・記述分析)			
第2次	5 ・ 6	p. 14-15	植物を育てよう 植物は, 季節とともにどのように成長していくのだろうか。 観察2 季節と植物の成長	態	○ 態①/植物の成長に進んでかかわり, 他者とかかわりながら, 植物を育てていこうとしているかを評価する。(行動観察)			○休校期間中に, 栽培活動を家庭などで行った場合は, そのようすを伝え合う。たねまきを行っていない場合は, 苗から育てることも考えられる。
				知	知③/植物の成長のようすを調べ, 結果をわかりやすく記録しているかを確認する。(行動観察・記録分析)			
第3次～ つなげよう	7 ・ 8 ・ 予備	p. 16-17	春の記録をまとめよう 活動 観察した記録カードを整理して伝え合おう つなげよう(日本各地の4月初め)	知	○ 知③/春の生き物のようすを理解し, 観察記録を整理し, わかりやすくまとめているかを評価する。(記録分析・ペーパーテスト)	1.0	これまでの学習をもとに, 春の生き物のようすをまとめる活動に取り組み, 「つなげよう」を読む。	
				態	○ 態②/春の生き物について, 学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。(発言・行動観察)			

計 2.0 時間

## 2. 天気と1日の気温

5月第2週～、 配当5時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】 B(4)天気の様子 ア(7)、イ

<p><b>【単元の目標】</b>                  天気と気温の変化に着目して、それらに関係づけて、1日の気温の変化を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b>                  知①/天気によって1日の気温の変化のしかたに違いがあることを理解している。                  知②/天気と1日の気温の変化について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/天気と1日の気温の変化について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。                  思②/天気と1日の気温の変化について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/天気と1日の気温の変化についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。                  態②/天気と1日の気温の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	---	---	---

次	時	ページ	指導計画	重点 記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p. 18-19	天気と1日の気温 天気と1日の気温にはどのような関係があるのだろうか。	思	思①/1日の気温の変化と天気の様子について予想や仮説を発想し、表現しているかを確認する。(発言・記述分析)			・教科書QR p. 19「思い出してみよう」
第1次	2・3・4	p. 20-22	1日の気温の変化 晴れの日と、曇りや雨の日では、1日の気温の変化はどのように違うのだろうか。 観察1 1日の気温の変化	思	○ 思②/1日の気温の変化のしかたについて、観察の結果から考察し、表現しているかを評価する。(発言・記述分析)			○ 気温の測定は、前単元の「春の生き物」、次単元の「地面を流れる水のゆくえ」と合わせて行うことも考えられる。 ・教科書QR p. 21「正しい気温の測り方」
				知	○ 知②/温度計を正しく扱いながら、天気や1日の気温の変化のしかたを調べ、測定した気温などの結果をわかりやすくまとめているかを評価する。(行動観察・記録分析)			
				知	○ 知①/天気によって、1日の気温の変化のしかたに違いがあることを理解しているかを評価する。(記述分析・ペーパーテスト)			
				態	態①/天気の様子や1日の気温の変化に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを確認する。(発言・行動観察)			
まとめ～ つなげよう	5・予備	p. 23-25	まとめノート/たしかめよう/活用しよう つなげよう(あまいくだものや野菜)	態	○ 態②/天気と1日の気温の変化について、学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。(行動観察・発言・記述分析)	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう/活用しよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p. 23「学習をふり返ろう」

計 1.0 時間

## 地面を流れる水のゆくえ

5月第4週～、 配当5時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】 B(3)雨水の行方と地面の様子 ア(7)(イ)、イ

<p><b>【単元の目標】</b> 水の流れる方や浸みこみ方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさを関係づけて、雨水のゆくえと地面のようすを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b> 知①／水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。 知②／水の浸みこみ方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。 知③／雨水のゆくえと地面のようすについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①／雨水のゆくえと地面のようすについて、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思②／雨水のゆくえと地面のようすについて、観察、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①／雨水のゆくえと地面のようすについての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②／雨水のゆくえと地面のようすについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
--	---	---	--

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
第1次	1	p. 26-28	地面を流れる水のゆくえ 水の流れと地面の傾きには、どんな関係があるのだろうか。 観察1 水の流れと地面のかたむき	思		思①／地面を流れる水のゆくえについて、差異点や共通点をもとに、問題を見いだすことができているかを確認する。（行動観察・発言）			
				態		態①／地面を流れる水のゆくえに進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを確認する。（行動観察・発言・記述分析）			
	2・3・4	p. 28-30	土の種類と水の浸みこみ方には、どんな関係があるのだろうか。 実験1 土のつぶの大きさと水のしみこみ方	知	○	知①／水は高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解しているかを評価する。（行動観察・記述分析）			・教科書QR p. 29「水のしみこみ方」
				思	○	思①／低い場所に流れた水のゆくえについて、土のようすと関連づけながら、根拠のある予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			
			知		知③／粒の大きさと水の浸みこみ方の違いを調べる実験を、条件制御しながら行い、結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）				
			知	○	知②／水の浸みこみ方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）				
第2次	5・予備	p. 31	地面や水とわたしたちの暮らし 地面や水は、わたしたちの暮らしとどんな関係があるのだろうか。	態	○	態②／水が地面を流れたり、浸みこんだりするしくみと自然災害や土地利用との関係について調べようとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）	0.5	教科書QRなどを利用して、水のしみこみによる災害や土地利用とわたしたちの暮らしとの関係を考える活動に取り組む。	・教科書QR p. 31「水がしみこんだ土地でのさい害」

計 0.5 時間

### 3. 電気のはたらき

6月第2週～、 配当7時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】 A(3)電流の働き ア(7), イ

<p><b>【単元の目標】</b> 電流の大きさや向き、乾電池につないだもののように着目して、それらと関係づけて、電流のはたらきを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b> 知①／乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 知②／電流のはたらきについて、器具や機器などを正しく扱いつながりながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①／電流のはたらきについて、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思②／電流のはたらきについて、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①／電流のはたらきについての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②／電流のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
--	---	--	--

次	時	ページ	指導計画	重点 記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p. 32-33	電気のはたらき 乾電池でモーターを回して、モーターの回り方を調べよう。	思	思①／乾電池とモーターを使ったおもちゃについて、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現しているかを確認する。（発言・記述分析）			・教科書QR p. 32 「思い出してみよう」
第1次	2・3	p. 34-36	かん電池のはたらき 乾電池をつなぐ向きと、モーターの回る向きには、どんな関係があるのだろうか。 実験1 かん電池とモーターの回る向き	思	○ 思①／回路を流れる電流の向きとモーターの回る向きについて予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			・教科書QR p. 34 「かんいけん流計の使い方」 ・教科書QR p. 35 「回路の表し方」
				知	○ 知②／簡易検流計を正しく使い、回路を流れる電流の向きと、モーターの回る向きを関係づけて調べているかを評価する。（行動観察・記録分析）			
	4・5	p. 37-38	モーターをもっと速く回すには、どうすればよいのだろうか。 実験2 かん電池とモーターの回る速さ	思	○ 思②／乾電池2個のつなぎ方やモーターの回り方について、実験の結果から考察し、表現しているかを評価する。（行動観察・記述分析）			
				態	○ 態①／乾電池2個のつなぎ方やモーターの回り方に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（発言・行動観察）			
	6	p. 39-40	直列つなぎのほうが、モーターが速く回るのは、どうしてだろうか。 実験3 かん電池と電流の大きさ	知	○ 知①／乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、モーターの回り方が変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
まとめ～ つなげよう	7 ・ 予備	p. 41-43	まとめノート／たしかめよう／活用しよう つなげよう（発光ダイオード(LED)）	態	○ 態②／電気のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察）	1.0	教科書を利用して「まとめノート／たしかめよう／活用しよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p. 41 「学習をふり返ろう」

計 1.0 時間



## 夏の生き物

7月第1週～、配当4時間

【学習指導要領との関連】B(2)季節と生物 ア(7)(イ)、イ

<p><b>【単元の目標】</b> 動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長のようすと季節の変化に着目して、それらに関係づけて、身近な動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりを調べることを通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】※</b> 知①／動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知②／植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知③／身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①／身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思②／身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①／身近な動物や植物についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②／身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	---	--	--

※各観点の評価は、「1. 春の生き物」「夏の生き物」「秋の生き物」「冬の生き物」「生き物の1年間」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
第1次	1 ・ 2	p. 44- 47	生き物のようす 春と比べて、生き物のようすは、どのようになっているのだろうか。 観察1 季節と生き物のようす	思	○	思①／夏の生き物について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）	1.0	気温と身近な動植物の様子を観察する。 ※家から離れた場所に子どもたちだけで観察に行くことがないようにするとともに、安全指導を十分に行っておく。	○昆虫や植物の夏のようすを観察できるよう、7月中に本単元を実施することが望ましい。 ○屋外での観察は、炎天下での長時間の実施を避けるなど、熱中症に注意する。 ・教科書QR p. 47「セミの鳴き声」
				態	○	態①／夏の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、春の生き物のようすとの違いを調べようとしているかを確認する。（行動観察・記述分析）			
第2次	3	p. 48- 49	植物を育てよう 春にたねをまいた植物は、夏になりどのように成長しているのだろうか。 観察2 季節と植物の成長	知	○	知③／植物の成長のようすを調べ、結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）			
第3次～ つなげよう	4	p. 50- 51	夏の記録をまとめよう 活動 観察した記録を整理して伝え合おう つなげよう（日本各地の夏）	知	○	知①②／夏になると、動物が活発に活動し、植物がよく成長することを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）	0.5	これまでの学習をもとに、夏の記録をまとめる活動に取り組み、「つなげよう」を読む。	
				態	○	態②／夏の生き物について、学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察）			

計 1.5 時間

## 夏の夜空

7月第2週, 配当2時間

【学習指導要領との関連】B(5)月と星 ア(イ), イ

<b>【単元の目標】</b> 星の明るさや色に着目して, 星の特徴を調べる活動を通して, それらについての理解をはかり, 観察などに関する技能を身につけるとともに, おもに既習の内容や生活経験をもとに, 根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	<b>【単元の評価規準】※</b> 知①/月は日によって形が変わって見え, 1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。 知②/空には, 明るさや色の違う星があることを理解している。 知③/星の集まりは, 1日のうちでも時刻によって, 並び方は変わらないが, 位置が変わることを理解している。 知④/月や星の特徴について, 器具や機器などを正しく扱いながら調べ, それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	思①/月や星の特徴について, 既習の内容や生活経験をもとに, 根拠のある予想や仮説を発想し, 表現するなどして問題解決している。 思②/月や星の特徴について, 観察などを行い, 得られた結果をもとに考察し, 表現するなどして問題解決している。	態①/月や星についての事物・現象に進んでかかわり, 他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②/月や星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
--	--	--	---

※各観点の評価は, 「夏の夜空」「4. 月や星の動き」「冬の夜空」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準 (B基準) と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考 (○=指導に関する補足, ●=感染症対策の例, =学習活動に有効なデジタルコンテンツの例)
第1次	1 ・ 2	p.52- 57	夏の夜空 夜空に輝く星には, どんな違いがあるのだろうか。 観察1 夏の星	態		態①/夏の夜空に輝く星に進んでかかわり, 他者とかかわりながら, 観察しようとしているかを確認する。(発言・記述分析)	0.5	実際の夜空と星座早見とを見比べて夏の大きな三角やさそり座などを探す。 ※家から離れた場所に子どもたちだけで観察に行くことがないようにするとともに, 安全指導を十分に行っておく。 補足として, 映像資料を利用することも考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書QR p.53 「夏の大きな三角」</li> <li>教科書QR p.54 「星座早見の使い方」</li> <li>NHK for School 「星の色」</li> </ul> <a href="https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005400151_00000">https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005400151_00000</a>
				知	○	知②④/方位磁針や星座早見などを正しく使って, 星や星座を観察し, 星によって明るさや色に違いがあることを理解しているかを評価する。(行動観察・記録分析・記述分析・ペーパーテスト)			

計 0.5 時間

## 自由研究

7月第3週・9月第2週, 配当2時間

次	時	ページ	おもな学習内容	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考 (○=指導に関する補足, ●=感染症対策の例, =学習活動に有効なデジタルコンテンツの例)
第1次	1 ・ 2	p.58- 59	調べることを決め, 調べる方法などを計画しよう。 調べた結果をまとめ, わかりやすく発表しよう。	2.0	教科書QRなどを利用してテーマを探し, 自由研究に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントへの参加や施設の利用にあたっては, 感染の状況に十分に注意する。</li> <li>教科書QR p.58 「自由研究に役立つリンク集」</li> </ul>

計 2.0 時間

## 4. 月や星の動き

9月第2週～、配当6時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】B(5)月と星 ア(7)(イ)(ウ)、イ

<p><b>【単元の目標】</b> 月や星の位置の変化や時間の経過に着目して、それらに関係づけて、月や星の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもち、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】※</b> 知①/月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。 知②/空には、明るさや色の違う星があることを理解している。 知③/星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 知④/月や星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/月や星の特徴について、既習の内容や生活経験をもち、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思②/月や星の特徴について、観察などを行い、得られた結果をもちに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/月や星についての事象・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②/月や星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
--	--	---	--

※各観点の評価は、「夏の夜空」「4. 月や星の動き」「冬の夜空」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○=指導に関する補足、●=感染症対策の例、 ●=学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p. 60-61	月や星の動き 月や星は、どのように動いているのだろうか。	思		思①/月の動きについて問題を見だし、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）	0.5	疑問や調べてみたいことをノートやワークシートに記入する。	・教科書QR p. 60「思い出してみよう」
第1次	2・3	p. 62-65	月の動き 月も、太陽と同じように、時刻とともに動いていくのだろうか。 観察1 半月と満月の動き	思	○	思①/月も太陽と同じように、時刻とともに動く予想や仮説を発想し、考えを表現しているかを評価する。（発言・記述分析）	0.5	満月の位置の変化を調べる。 ※家から離れた場所に子どもたちだけで観察に行くことがないようにするとともに、安全指導を十分に行っておく。 補足として、映像資料を利用することも考えられる。	・教科書QR p. 62「空を見たときの方位」 ・NHK for School「月の動き方」 <a href="https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301022_00000&amp;p=box">https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301022_00000&amp;p=box</a>
				知	○	知①④/方位磁針を正しく使って月の位置を調べ、月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解しているかを評価する。（記録分析・記述分析・ペーパーテスト）			
				態	○	態①/月の動き方について進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）			
第2次	4・5	p. 66-69	星の動き 星も、時刻とともに動いていくのだろうか。 観察2 星の位置やならび方	知	○	知③/星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）	0.5	星の位置の変化を調べる。 ※家から離れた場所に子どもたちだけで観察に行くことがないようにするとともに、安全指導を十分に行っておく。 補足として、映像資料を利用することも考えられる。	・教科書QR p. 69「北極星の見つけ方」 ・NHK for School「夏の星空は時間がたつと…」 <a href="https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301834_00000">https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301834_00000</a> ・NHK for School「さそりぎをずっとみていると…」 <a href="https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301833_00000">https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301833_00000</a>
				思	○	思②/星の位置の変化を観察の結果から考察し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			
まとめ～ つなげよう	6・予備	p. 70-73	まとめノート/たしかめよう/活用しよう つなげよう(流れ星の正体)	態	○	態②/月や星の動きについて、学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・記述分析）	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう/活用しよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p. 70「学習をふり返ろう」

計 2.5 時間



## 5. とじこめた空気や水

9月第4週～、配当6時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】A(1)空気と水の性質 ア(7)(イ)、イ

<p><b>【単元の目標】</b>                  体積や押し返す力の変化に着目して、それらと押し力とを関係づけて、空気と水の性質を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもちに、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b>                  知①/閉じ込めた空気を押すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなることを理解している。                  知②/閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解している。                  知③/空気と水の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/空気と水の性質について、既習の内容や生活経験をもちに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。                  思②/空気と水の性質について、実験などを行い、得られた結果をもちに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/空気と水の性質についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。                  態②/空気と水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
--	--	---	---

次	時	ページ	指導計画	重点記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○=指導に関する補足、●=感染症対策の例、 ・=学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1 ・ 2	p. 74- 77	とじこめた空気や水 閉じ込めた空気にはどんな性質があるのだろうか。	思	思①/閉じ込めた空気の性質について問題を見だし、表現しているかを確認する。（発言・記述分析）			●2人で空気の入った袋を押し合う活動は、各自で袋を壁に押し当てたり、袋の上に座ったりする活動に変更する。
				態	○ 態①/閉じ込めた空気を使った活動に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察）			
第1次	3 ・ 4	p. 78- 80	とじこめた空気のせいしつ 活動 空気でっぽうで玉を飛ばしてみよう 閉じ込めた空気を押したとき、空気はどのようなになっているのだろうか。 実験1 とじこめた空気をおしたとき	思	○ 思①/閉じ込めた空気を押したときについて、予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			
				知	○ 知③/空気を閉じ込めた器具を安全に正しく使って、閉じ込めた空気の性質を調べているかを評価する。（発言・行動観察）			
				知	○ 知①/閉じ込めた空気を押すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
第2次	5	p. 81- 82	とじこめた水のせいしつ 水も、空気と同じように、押し縮めることができるのだろうか。 実験2 とじこめた水をおしたとき	知	知③/閉じ込めた水を押したときについて、結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）			
				思	○ 思②/閉じ込めた水を押し縮めることができるかについて、実験の結果から考察し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			
				知	○ 知②/閉じ込めた水は、空気と違って押し縮められないことを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
まとめ～ つなげよう	6 ・ 予備	p. 83- 85	まとめノート/たしかめよう/活用しよう つなげよう（東京ドームの屋根）	態	○ 態②/閉じ込めた空気や水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言・記述分析）	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう/活用しよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p. 83「学習をふり返ろう」

計 1.0 時間

## 6. ヒトの体のつくりと運動

10月第3週～、 配当6時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】 B(1)人の体のつくりと運動 ア(7)(イ), イ

<p><b>【単元の目標】</b> 骨や筋肉のつくりとはたらきに着目して、それらを関係づけて、ヒトやほかの動物の体のつくりと運動とのかかわりを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察、資料調べなどに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や生き物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b> 知①/ヒトの体には骨と筋肉があることを理解している。 知②/ヒトが体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解している。 知③/ヒトやほかの動物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/ヒトやほかの動物について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思②/ヒトやほかの動物について、観察、資料調べなどを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/ヒトやほかの動物についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしている。 態②/ヒトやほかの動物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
--	--	---	---

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p.86-87	ヒトの体のつくりと運動 ヒトや動物の体は、どんなつくりをしていて、どんなしくみで動いているのだろうか。	思	○	思①/運動しているときのヒトの体の動きから、腕の中の骨がどのようになっているか予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。(発言・記述分析)			
第1次	2	p.88-90	体を曲げられるところ 体の中で曲げられるところは、どこにあるのだろうか。 観察1 体を曲げられるところ	知		知③/自分の体を触ったり、骨の模型や映像などの資料を活用したりして、体を曲げられるところを調べているかを評価する。(行動観察・記録分析)			・教科書QR p.89「歩く運動とほね」
				態	○	態①/体を曲げられるところに進んでかかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。(行動観察・発言・記述分析)			
第2次	3	p.91-92	体の動くしくみ ヒトは、どのように体を動かしているのだろうか。 観察2 体の動くしくみ	知	○	知①②/ヒトの体には骨と筋肉があり、ヒトが体を動かすことができるのは、骨や筋肉のはたらきによることを理解しているかを評価する。(記述分析・ペーパーテスト)			
第3次	4・5	p.93-94	動物の体のつくりとしくみ ほかの動物も、ヒトと同じしくみで、体を動かしているのだろうか。 資料調べ1 動物の体のつくりとしくみ	知	○	知③/ほかの動物の体のつくりや、体を動かすしくみについて、資料を活用して調べているかを評価する。(行動観察・記録分析)	1.0	教科書QRなどを利用して、資料調べに取り組む。	・教科書QR p.93「動物の体のつくり」
				思	○	思②/ほかの動物の体のつくりや、体を動かすしくみについて、ヒトと関係づけて考察し、自分の考えを表現しているかを評価する。(発言・記述分析)			
まとめ～ つなげよう	6・予備	p.95-97	まとめノート/たしかめよう/活用しよう つなげよう(いろいろな動物のほね)	態	○	態②/ヒトやほかの動物の体のつくりと運動について、学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。(発言・行動観察・記述分析)	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう/活用しよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p.95「学習をふり返ろう」

計 2.0 時間

## 秋の生き物

11月第1週～、配当4時間

【学習指導要領との関連】B(2)季節と生物 ア(ア)イ、イ

<p><b>【単元の目標】</b> 動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長のようすと季節の変化に着目して、それらに関係づけて、身近な動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりを調べることを通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】※</b> 知①/動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知②/植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知③/身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思②/身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/身近な動物や植物についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかわりながら問題解決しようとしている。 態②/身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	---	--	---

※各観点の評価は、「1. 春の生き物」「夏の生き物」「秋の生き物」「冬の生き物」「生き物の1年間」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
第1次	1 ・ 2	p.98- 101	生き物のようす 春や夏と比べて、生き物のようすは、どのようになっているのだろうか。 観察1 季節と生き物のようす	思	○	思①/秋の生き物について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）	1.0	気温と身近な動植物の様子を観察する。 ※家から離れた場所に子どもたちだけで観察に行くことがないようにするとともに、安全指導を十分に行っておく。	
				態		態①/秋の生き物に進んでかかわり、他者とかわりながら、季節による違いを調べようとしているかを確認する。（行動観察・記述分析）			
第2次	3	p.102- 103	植物を育てよう 春にたねをまいた植物は、秋になりどのように成長しているのだろうか。 観察2 季節と植物の成長	知		知③/植物の成長のようすを調べ、結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）			
第3次～ つなげよう	4	p.104- 105	秋の記録をまとめよう 活動 観察した記録を整理して伝え合おう つなげよう（日本各地の秋）	知	○	知①②/秋になると、動物の動きは鈍くなり、植物は成長が止まったり、実が大きくなったりすることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）	0.5	これまでの学習をもとに、秋の記録をまとめる活動に取り組み、「つなげよう」を読む。	
				態	○	態②/秋の生き物について、学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察）			

計 1.5 時間

## みんなで使う理科室

11月第2週～、配当2時間＋予備1時間

次	時	ページ	おもな学習内容	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
第1次	1 ・ 2 ・ 予備	p.106- 109	安全に実験できるように、理科室では、どんなことに注意するとよいのだろうか。 実験が終わったら、どのように片づけるとよいのだろうか。			・教科書QR p.107「まちがいさがし」

計 0.0 時間

## 7. ものの温度と体積

11月第3週～、 配当8時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】 A(2) 金属、水、空気と温度 ア(7)、イ

<p><b>【単元の目標】</b>                  空気・水・金属をあたためたり、冷やしたりしたときの体積の変化に着目して、それらと温度の変化とを関係づけて、空気・水・金属の温度変化に伴う体積の変化を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b>                  知①/空気・水・金属は、あたためたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを理解している。                  知②/空気・水・金属の温度と体積について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/空気・水・金属の温度と体積について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。                  思②/空気・水・金属の温度と体積について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/空気・水・金属の温度と体積についての事象・現象に進んでかかわり、他者とかがわりながら問題解決しようとしている。                  態②/空気・水・金属の温度と体積について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
--	--	---	---

次	時	ページ	指導計画	重点記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p. 110-111	<b>ものの温度と体積</b> 閉じ込めた空気をあたためると、どうなるのだろうか。	思	思①/閉じ込めた空気をあたためたときについて問題を見だし、表現しているかを確認する。(発言・記述分析)			○「根拠のある予想や仮説を発想する」力を育てる指導に適した単元であり、特に意識して指導することが望ましい。 ・教科書QR p. 110「思い出してみよう」
第1次	2・3	p. 112-114	<b>空気の温度と体積</b> 空気は温度によって、体積が変わるのだろうか。 実験1 温度による空気の体積の変化	思	○ 思①/閉じ込めた空気をあたためたときについて、予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。(発言・記述分析)			
				思	○ 思②/空気の温度と体積について、実験の結果から考察し、表現しているかを評価する。(発言・記述分析)			
				知	○ 知①/空気はあたためたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解しているかを評価する。(記述分析・ペーパーテスト)			
				態	○ 態①/温度による空気の体積の変化に進んでかかわり、他者とかがわりながら問題解決しようとしているかを評価する。(発言・行動観察・記述分析)			
第2次	4・5	p. 115-117	<b>水の温度と体積</b> 水も空気のように、温度によって体積が変わるのだろうか。 実験2 温度による水の体積の変化	思	思②/温度による水の体積変化について、実験の結果から考察し、表現しているかを確認する。(発言・記述分析)			
				知	○ 知①/水はあたためたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解しているかを評価する。(記述分析・ペーパーテスト)			
第3次	6・7	p. 118-120	<b>金ぞくの温度と体積</b> 金属も、温度によって体積が変わるのだろうか。 実験3 温度による金ぞくの体積の変化	知	○ 知②/加熱器具などを安全に正しく使って、金属をあたためたり冷やしたりしたときの体積の変化を調べているかを評価する。(行動観察・記録分析)			・教科書QR p. 119「実験用ガスコンロの使い方」
				思	思②/温度による金属の体積変化について、実験の結果から考察し、表現しているかを確認する。(発言・記述分析)			
				知	○ 知①/金属は、あたためたり冷やしたりすると、その体積が変わるが、その変化は空気や水より小さいことを理解しているかを評価する。(記述分析・ペーパーテスト)			
まとめ～つなげよう	8・予備	p. 121-123	まとめノート/たしかめよう/活用しよう つなげよう(火災報知器のしくみ)	態	○ 態②/温度によるものの体積変化について、学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。(発言・行動観察・記述分析)	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう/活用しよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p. 121「学習をふり返ろう」

計 1.0 時間



### 冬の夜空

1月第2週, 配当2時間

【学習指導要領との関連】B(5)月と星 ア(イ)(ウ), イ

【単元の目標】 星の位置の変化や時間の経過に着目して、それらに関係づけて、星の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、観察に関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	【単元の評価規準】※ 知①／月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。 知②／空には、明るさや色の違う星があることを理解している。 知③／星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 知④／月や星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	思①／月や星の特徴について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思②／月や星の特徴について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	態①／月や星についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかがわりながら問題解決しようとしている。 態②／月や星について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
--	--	--	--

※各観点の評価は、「夏の夜空」「4. 月や星の動き」「冬の夜空」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点 記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
第1次	1 ・ 2	p.124- 127	冬の夜空 冬の星も、明るさや色に違いがあり、時刻とともに、動いていくのだろうか。 観察1 冬の星	態	態①／冬の夜空に輝く星に進んでかかわり、他者とかがわりながら、観察しようとしているかを確認する。（発言・記述分析）	0.5	星の位置の変化を調べる。 ※家から離れた場所に子どもたちだけで観察に行くことがないようにするとともに、安全指導を十分に行っておく。 補足として、映像資料を利用することも考えられる。	・教科書QR p.124「冬の大三角」 ・NHK for School「オリオンをずっと見ていると…」 <a href="https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301835_00000&amp;p=box">https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301835_00000&amp;p=box</a>
				知	○ 知②／冬の夜空にも、明るさや色の違う星があり、時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			

計 0.5 時間

### 冬の生き物

1月第2週～, 配当3時間

【学習指導要領との関連】B(2)季節と生物 ア(ア)(イ), イ

【単元の目標】 動物を探したり植物を育てたりしながら、動物の活動や植物の成長のようすと季節の変化に着目して、それらに関係づけて、身近な動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりを調べることを通して、それらについての理解をはかり、観察などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	【単元の評価規準】※ 知①／動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知②／植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知③／身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。	思①／身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思②／身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。	態①／身近な動物や植物についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかがわりながら問題解決しようとしている。 態②／身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
--	--	--	--

※各観点の評価は、「1. 春の生き物」「夏の生き物」「秋の生き物」「冬の生き物」「生き物の1年間」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点 記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
第1次	1	p.128- 131	生き物のようす これまでと比べて、生き物のようすは、どのようになっているのだろうか。 観察1 季節と生き物のようす	思	○ 思①／冬の生き物について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）	0.5	気温と身近な動植物の様子を観察する。 ※家から離れた場所に子どもたちだけで観察に行くことがないようにするとともに、安全指導を十分に行っておく。	・教科書QR p.129「0℃より低い温度の読み方」
				態	態①／冬の生き物に進んでかかわり、他者とかがわりながら、季節による違いを調べようとしているかを確認する。（行動観察・記述分析）			
第2次	2	p.132- 133	植物を育てよう 春にたねをまいた植物は、冬になりどのように変わってきているのだろうか。 観察2 季節と植物の成長	知	知③／植物のようすを調べ、結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）			
第3次～ つなげよう	3	p.134- 135	冬の記録をまとめよう 活動 観察した記録を整理して伝え合おう つなげよう（日本各地の冬）	知	○ 知①②／冬になると、動物は見られなくなり、植物はたねを残して枯れたり、枝に芽をつけて冬を越したりすることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）	0.5	これまでの学習をもとに、冬の記録をまとめる活動に取り組み、「つなげよう」を読む。	
				態	○ 態②／冬の生き物について、学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察）			

計 1.0 時間



## 8. もののあたたまり方

1月第3週～、配当7時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】A(2)金属、水、空気と温度 ア(イ)、イ

<p><b>【単元の目標】</b> 金属・水・空気を熱したときの熱の伝わり方に着目して、それらと温度の変化とを関係づけて、金属・水・空気のあたたまり方を調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b> 知①/金属は熱せられた部分から順にあたたまるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体があたまることを理解している。 知②/金属・水・空気のあたたまり方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/金属・水・空気のあたたまり方について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思②/金属・水・空気のあたたまり方について、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/金属・水・空気のあたたまり方についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②/金属・水・空気のあたたまり方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	---	--	--

次	時	ページ	指導計画	重点 記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p.136-138	もののあたたまり方 ものは、どのようにあたたまっていくのだろうか。	思	○ 思①/金属の一部を熱すると、どのようにあたたまっていくのかについて予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			・教科書QR p.136「思い出してみよう」
第1次	2・3	p.139-140	金ぞくのあたたまり方 金属はどのようにあたたまっていくのだろうか。 実験1 金ぞくのあたたまり方	知	○ 知②/加熱器具などを安全に正しく使って、金属のあたたまり方を調べているかを評価する。（行動観察・記録分析）			
				知	○ 知①/金属は熱せられた部分から順にあたたまっていくことを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
				態	○ 態①/金属のあたたまり方に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（発言・行動観察・記述分析）			
第2次	4	p.141-142	水のあたたまり方 水は、どのようにあたたまっていくのだろうか。 実験2 試験管の中の水のあたたまり方	知	知②/水のあたたまり方を調べ、結果をわかりやすく記録しているかを評価する。（行動観察・記録分析）			
	5	p.143-144	水は、どのようにして、全体があたたまっていくのだろうか。 実験3 ビーカーの中の水のあたたまり方	思	○ 思②/水のあたたまり方について、実験の結果から考察し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			
第3次	6	p.145-146	空気のあたたまり方 空気は、どのようにあたたまっていくのだろうか。 実験4 空気のあたたまり方	知	○ 知①/水はあたためられた部分が移動して全体があたたまることを理解しているかを評価する。（発言・記述分析・ペーパー分析）			
				思	○ 思②/空気のあたたまり方について、実験の結果から考察し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			
まとめ～ つなげよう	7・予備	p.147-149	まとめノート/たしかめよう/活用しよう つなげよう（あたためられた空気で大空へ）	態	○ 態②/もののあたたまり方について、学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（発言・行動観察・記述分析）	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう/活用しよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p.147「学習をふり返ろう」 ・教科書QR p.149「熱気球と空気の温度」

計 1.0 時間

## 9. 水のすがた

2月第2週～, 配当7時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】A(2)金属, 水, 空気と温度 ア(ウ), イ

<p><b>【単元の目標】</b> 水の状態に着目して, 温度の変化と関係づけて, 水の状態の変化を調べる活動を通して, それらについての理解をはかり, 実験などに関する技能を身につけるとともに, おもに既習の内容や生活経験をもとに, 根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b> 知①/水は, 温度によって水蒸気や氷に変わることを, また, 水が氷になると体積が増えることを理解している。 知②/水の状態変化について, 器具や機器などを正しく扱いながら調べ, それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/水の状態変化について, 既習の内容や生活経験をもとに, 根拠のある予想や仮説を発想し, 表現するなどして問題解決している。 思②/水の状態変化について, 実験などを行い, 得られた結果をもとに考察し, 表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/水の状態変化についての事物・現象に進んでかかわり, 他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②/水の状態変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	---	--	---

次	時	ページ	指導計画	重点 点 思	記 録	評価規準 (B基準) と評価手法	※の 時 数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考 (○=指導に関する補足, ●=感染症対策の例, ・=学習活動に有効なデジタルコンテンツの例)
単元導入	1	p. 150-151	水のすがた 温度によって水はどのように姿を変えるのだろうか。	思	○	思①/水が氷になったり, 水を熱すると湯気や泡が出たりする現象について予想や仮説を発想し, 表現しているかを評価する。(発言・記述分析)			
第1次	2	p. 152-154	水を熱したときの变化 水を熱し続けると, どうなるのだろうか。 実験1 水を熱したときの变化	知	○	知②/加熱器具などを安全に正しく使って, 熱したときの水の様子を調べ, わかりやすく記録しているかを評価する。(行動観察・記録分析)			
	3・4	p. 155-157	水を熱したときに出てきた泡は, 何だろうか。 実験2 水を熱したときのあわの正体	思	○	思②/水を熱したときに出る泡の正体について, 実験の結果から考察し, 表現しているかを評価する。(発言・記述分析)			
第2次	5	p. 158-160	水を冷やしたときの变化 水を冷やし続けると, どうなるのだろうか。 実験3 水を冷やしたときの变化	知	○	知②/水を冷やし続けたときの温度や様子をわかりやすく記録しているかを確認する。(行動観察・記録分析)			
				思	○	思②/水を冷やしたときの变化について実験の結果から考察し, 表現しているかを確認する。(発言・記述分析)			
第3次	6	p. 161	水の3つのすがた 水は温度によってどのように姿を変えたのだろうか。	知	○	知①/水が温度によって水蒸気や氷に変わることや, 水が氷になると体積が増えることを理解しているかを評価する。(記述分析・ペーパーテスト)			
まとめ～ つなげよう	7・ 予 備	p. 162-165	まとめノート/たしかめよう/活用しよう つなげよう(じょう気機関車, 流氷)	態	○	態②/温度による水の状態変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。(行動観察・発言)	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう/活用しよう」に取り組み, 「つなげよう」を読む。	・教科書QR p.162「学習をふり返ろう」 ・教科書QR p164「じょう気機関車」

計 1.0 時間

## 10. 水のゆくえ

3月第1週～、配当5時間+予備1時間

【学習指導要領との関連】B(4)天気の様子 ア(イ)、イ

<p><b>【単元の目標】</b> 水のゆくえに着目して、それらと水の状態変化とを関係づけて、自然界の水のようすを調べる活動を通して、それらについての理解をはかり、実験などに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】</b> 知①/水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと、また、空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。 知②/自然界の水のようすについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/自然界の水のようすについて、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思②/自然界の水のようすについて、実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/自然界の水のようすについての事物・現象に進んでかかわり、他者とかがわりながら問題解決しようとしている。 態②/自然界の水のようすについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
--	--	--	--

次	時	ページ	指導計画	重点 記録	評価規準（B基準）と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
単元導入	1	p.166-167	水のゆくえ 消えた水たまりの水は、どこにいったのだろうか。	思	思①/水たまりの水のゆくえについて問題を見だし、表現しているかを確認する。（発言・記述分析）			○「根拠のある予想や仮説を発想する」力を育てる指導に適した単元であり、特に意識して指導することが望ましい。 ・教科書QR p.166「校庭にまいた水」 ・教科書QR p.166「思い出してみよう」
第1次	2・3	p.168-170	消えた水のゆくえ 水は沸騰しなくても、蒸発していくのだろうか。 実験1 空気中に出ていく水	思	○ 思①/水は熱しなくても、蒸発するかについて予想や仮説を発想し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			
				知	知②/水の自然蒸発のようすを調べ、結果をわかりやすく記録しているかを確認する。（行動観察・記録分析）			
				知	○ 知①/水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
				態	○ 態①/空気中に出ていく水に進んでかかわり、他者とかがわりながら問題解決しようとしているかを評価する。（行動観察・発言）			
第2次	4	p.171-172	空気中の水 空気中から水を取り出すことができるのだろうか。 実験2 空気中にある水	思	○ 思②/空気中から水を取り出せるかについて、実験の結果から考察し、表現しているかを評価する。（発言・記述分析）			
				知	○ 知①/空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解しているかを評価する。（記述分析・ペーパーテスト）			
まとめ～ つなげよう	5・ 予備	p.173-177	まとめノート/たしかめよう/活用しよう つなげよう(きりにうかぶ城、自然の中をめぐる水)	態	○ 態②/水のゆくえについて学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。（行動観察・発言）	1.0	教科書を利用して「まとめノート/たしかめよう/活用しよう」に取り組み、「つなげよう」を読む。	・教科書QR p.173「学習をふり返ろう」 ・教科書QR p.177「水のじゅんかん」

計 1.0 時間

## これまでの学習をつなげよう

3月第3週、配当1時間

次	時	ページ	おもな学習内容	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考（○＝指導に関する補足、●＝感染症対策の例、 ・＝学習活動に有効なデジタルコンテンツの例）
第1次	1	p.178-179	空気、水、金属は、それぞれどんな性質をもっているだろうか。	1.0	教科書を読んで、これまでの学習をふり返る。	

計 1.0 時間

## 生き物の1年間

3月第3週, 配当2時間

【学習指導要領との関連】B(2)季節と生物 ア(7)(イ), イ

<p><b>【単元の目標】</b> 1年間調べてきた生物のようすを振り返りながら、動物の活動や植物の成長のようすと季節の変化に着目して、それらに関係づけて、身近な動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりを調べることを通して、それらについての理解をはかり、資料調べなどに関する技能を身につけるとともに、おもに既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p><b>【単元の評価規準】※</b> 知①/動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知②/植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 知③/身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果をわかりやすく記録している。</p>	<p>思①/身近な動物や植物について、既習の内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。 思②/身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決している。</p>	<p>態①/身近な動物や植物についての事物・現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 態②/身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	---	--	--

※各観点の評価は、「1. 春の生き物」「夏の生き物」「秋の生き物」「冬の生き物」「生き物の1年間」を通して計画している。

次	時	ページ	指導計画	重点	記録	評価規準 (B基準) と評価手法	※の 時数	※学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動	備考 (○=指導に関する補足, ●=感染症対策の例, =学習活動に有効なデジタルコンテンツの例)
第1次	1 ・ 2	p.180- 185	<p><b>生き物の1年間</b> 生き物は、1年間どのようにしてきたのだろうか。 資料調べ1 生き物の1年間のようす</p>	態		態①/季節と生き物のようすに進んでかかわり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているかを確認する。(行動観察・記述分析)	1.0	これまでの学習をもとに、生き物の1年間の記録をまとめる活動に取り組む。	○春の生き物の観察を行えなかった場合は、ここで、春先の生き物のようすを観察することも考えられる。
				知	○	知③/1年間の観察記録を生き物ごとに整理し、季節と生き物のようすの関係について、わかりやすくまとめているかを評価する。(行動観察・記録分析)			
				知		知①②/動物の活動や植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解しているかを確認する。(記述分析・ペーパーテスト)			
				態	○	態②/季節と生き物のようすについて、学んだことを学習や生活に生かそうとしているかを評価する。(発言・行動観察)			

計 1.0 時間